



千葉市立千城台南中学校  
 令和7年度 特別号  
 発行日 令和8年2月13日(金)  
 043-237-1521

◆学校評価◆

校長 山口 鉄也

学校評価の集計がまとまりましたのでお知らせします。昨年度の結果も載せましたのでご覧ください。この結果をしっかりと分析し、来年度の学校経営に生かせるよう、次年度対策会議等で検討していきたいと思っております。ご協力、ありがとうございました。

令和7年度 学校評価 項 目	R6年度		R7年度	
	生徒	保護者	生徒	保護者
1、楽しい学校生活を送っている。	3.4	3.2	3.4	3.3
2、家庭学習への取組は十分できている。	2.8	2.4	2.8	2.8
3、授業での学習の内容を理解できている。	2.9	2.5	3.0	2.6
4、部活動に積極的に参加している (いた)。	3.3	3.3	3.5	3.3
5、登校・帰宅後にきちんとあいさつをしている。	3.5	3.5	3.5	3.5
6、遅刻せず、約束した時間を守って行動している。	3.5	3.4	3.5	3.5
7、マナーや公衆道徳は身につけている。	3.4	3.2	3.6	3.3
8、人を思いやる心や奉仕の心をもって生活している。	3.3	3.4	3.4	3.5
9、物を大切に扱っている。	3.4	3.1	3.5	3.1
10、望ましい食生活が身につけている。	3.0	3.0	3.2	3.0
11、委員会活動やボランティア活動などに積極的に取り組んでいる。	2.9	2.7	3.1	2.9
12、授業をわかりやすく教えてくれる。	3.3	2.9	3.4	3.0
13、家庭学習がしやすいように、課題を準備したりアドバイスをしてくれる。	3.1	2.7	3.1	2.9
14、生徒の健康と安全に十分気を配ってくれる。	3.4	3.2	3.5	3.2
15、教育環境（教室掲示・掲示板・植物・死角をなくすなど）を良くしようとしている。	3.2	3.0	3.3	3.1
16、スマートフォンやインターネットの使い方について保護者と話をしている。	3.0	3.2	3.1	3.2
17、いけないことをしたときに、きちんと叱ってくれる。	3.5	3.0	3.6	3.2
18、自分なりの夢を持っている。	2.8	2.7	2.8	2.9
19、学校からのプリント（南風、学年だよりなど）を保護者に見せている。	3.2	2.8	3.1	3.0
20、ノートの取り方や授業の進め方などを工夫して教えてくれる。	3.1	2.9	3.3	3.0
21、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについてわかるまで教えてくれる。	3.2	3.0	3.2	3.1
22、生徒の将来についてもよく考えてアドバイスしてくれる。	3.2	2.9	3.2	2.9
23、生徒の気持ちを理解しようとしてくれる。	3.2	2.9	3.3	3.0
24、スマートフォンやインターネットを適切に使用している。	3.4	2.8	3.4	2.9
25、学級の中で、自分は必要とされている。	2.7		2.8	

26、あなたのよいところや頑張ったところをほめてくれる。	3.1		3.3	
27、学級のみんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。	3.5		3.6	
28、通知表は、学習成果などを中心に、子どもの様子がよくわかるものになっている。		2.9		3.0
29、学校や学年は、子どもの学校での様子を校報や学年だより等で知らせてくれる。		3.0		3.2
30、参観日や懇談会など保護者と交流する機会を十分に設けている。		3.2		3.2
31、保護者からみて、学校に足を運び雰囲気である。		3.0		3.1
32、地域との連携を重視して教育を進めている。		2.8		2.9
33、ケガや事故に対せる学校からの連絡や処置は適切である。		3.3		3.4
34、学校は、いじめの防止や早期発見のために真摯に取り組み、安心安全な学校づくりに努めている。		2.9		3.0

## ◆学校評価より見えてくるもの◆

### <今年度の実態>

本校は学校教育目標である「豊かな心と健康な体で、未来にたくましく生きる生徒の育成」の実現に向けて、日々学校運営を行っています。ここ数年、挨拶や身だしなみ、時間を守るといった基本的生活習慣に関しては、生徒・保護者とも高い評価をいただいています。また、学校生活の過ごしやすさ、満足度を表す「楽しい学校生活」は生徒、保護者ともに3点台と高評価でした。

しかし、学力向上に関して、昨年度よりも向上してきている傾向は見られるものの「家庭学習への取組は十分にできている」「授業での学習内容を理解している」の2項目が4段階評価で2点台という評価も、まだ見られます。健康・安全面の配慮。部活動、委員会やボランティア活動、地域との連携も含めた行事への参加等、ここ数年の中では満足度は高い数値でした。行事、部活動、学習とバランスの取れた取り組みを今後も重要視していく必要があると考えています。

### <次年度へ向けて>

#### ○確かな学力をもつ生徒の育成について

学習に遅れがちな生徒が、通常の授業についていけるよう、基礎・基本の徹底を図り「わかる授業の推進」に努めてまいりましたが、徹底できていない状況もあります。今年度も実施していますが、定期テスト前の学習会の充実や、先を見据えた家庭学習の定着を進めなければなりません。将来を見通した様々な進路先の共有を通して、学力の底上げを図る必要があります。また、新学習指導要領に対応した、「わかる授業」を目指した日々の授業改善に力を入れ、継続して実施していきます。

#### ○健やかな体をもつ生徒の育成について

現在、年間30日以上長期欠席生徒が多数存在している実態があります。思春期である中学生は、心や身体のバランスが崩れたり、人間関係で悩んだりする時期です。教育相談を充実させ、生徒が悩み等を素直に言えるなど生徒と教師の人間関係をさらに発展させ、今後も、継続して不登校や人間関係等の悩みの解消を図る必要があります。また、別室対応や外部機関との連携を含め、対応が喫緊の課題です。ご心配な点などありましたら、早めに学校にご相談ください。